ボランティア通信

ボランティア・センターおくたま

No. 124

社会福祉法人
奥多摩町社会福祉協議会
奥多摩町氷川199
（福祉会館１階）

電　話：(0428)83-3883
ＦＡＸ：(0428)83-2567
E-mail：borasen@okusyakyo.or.jp

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：http://okusyakyo.or.jp/

開所時間
月曜日～金曜日
午前8時30分～
午後5時30分

ドクター片倉のここだけの話

ボランティア・センター
おくたま
運営委員会　委員長
双葉会診療所　院長　片倉和彦

「大震災の後の福祉バザー」

二〇一一年の大震災の日は、息子と級友を東大和から送り届けて、飯能から娘とその友達を家まで送り届けて、大渋滞で帰宅が午前８時でした。大震災の翌々日の日曜日に八王子でろうあ協会の講演があったので、当日の帰路のろう者の体験をお聞きして放射線について解説しました。その後いろいろありました。３月16日の朝、ボランティアセンター運営委員長からの電話に福祉バザーはやろうよ、と答えた直後に、頭の中を波が引いていきました。脳出血でした。青梅で７日間入院しました。ガソリンを調達して来てくれた妻に感謝しつつ、ろう者の災害時医療は任せといてと言っていたのにできなくて情けなくなっていました。

退院して福祉バザーの集いの賞品のために預かったお金をカインズで落としました。妻に電話しました。「あの～、子どもの乗った自転車と交通事故・・・、というのと左半身が全然動かなくなってしまった・・・、というのと、２万円入りの封筒を落としてしまった・・・というのと、どれがいい」。妻は「そりゃ落としたのがいちばんいい」私「そう、その一番いいやつをやってしまった」

その時の福祉バザーには奥多摩町の福音の家に疎開しておられた福島県大熊町にある福島第一聖書バプテスト教会の教会員の皆さんも来られ買い物をしました。その３年後から片倉は、毎年３月にいわきに行って福島第一聖書バプテスト教会の方々にお会いしています。

ボランティア　リレートーク

奥多摩指圧奉仕会　福住みつ子

「指圧の心は母心押せば命の泉湧く」のフレーズでお馴染みの浪越徳治郎（元日本指圧協会会長）最後のお弟子さんである指圧の講師近藤ひろみ先生に、基本の指圧講習を21期に（2017年平成29年）に受けて、現在１期から20期の先輩の指導のおかげで活動ができています。

現在では、23期までの指圧研修を受けた、会員と共に活動し、利用者さんに癒しを提供しています。

「奥多摩指圧奉仕会」は菊池恭子前会長から（令和元年）渡邊和雄会長に引き継がれ毎月第１月曜日、福祉会館和室で指圧の技術の向上に努めてお互いに復習を兼ねて勉強をしています。

桃色の指圧のユニフォームを着て奉仕活動ができるのは、現在は、奥多摩町高齢者在宅サービスセンターの月２回のみです。指圧奉仕の時には利用者さんに身体の不調をお聞きします。利用者さんのお顔を拝見すると、心までほぐれた様な気がします。次の回に、前回、指圧奉仕をした利用者さんに会えた時は、「体の不調や悩み事」を聴いたりして、決まっている指圧奉仕時間を楽しいひと時にして過ごしています。

新型コロナウイルスが５年前に、人々を恐怖に落とし、指圧奉仕会も活動ができなくなりました。他の施設である老人ホーム等へは、まだコロナの影響から活動する事が出来ていませんが、それも再開し、利用者さんに喜んでいただく事を祈ります。

「奥多摩指圧奉仕会」は長きにわたり活動していますが、徐々に年齢が上がってきています。他の講座や指圧の知識を習得する事で利用者さんとの出会い、人生にはりが出来ると思います。

次ページへ続く

人生100年時代、あなたを必要としています。実年齢より若さを維持できると思います。心も元気でいる方が年老いて自信を無くすよりも、何かに挑戦して楽しいと思えたら自信につながり生き甲斐を感じられると思います。生き甲斐を持っている人はすごいパワーがあると100歳を生きている人から教わり感じました。

つぎは「点字サークルてん点」で活躍されている堀口リエさんにバトンを渡したいと思います。

▲福住みつ子さん

奥多摩町身体障害者福祉協会
～会員を募集しています～

身体障害者福祉協会では、心のふれあいを図ることを目的に、会員相互の情報交換、親睦旅行、懇親会などの事業を行っています。（現在会員数22名）

〔対象〕身体障害者手帳をお持ちの方もしくは身体障害児のいる家族（保護者）の方ならどなたでも入会できます

会費…年額１，０００円

※申し込み　問い合わせは
事務局・奥多摩町社会福祉協議会
８３－３８５５

ボランティア団体のご紹介

社会福祉協議会に登録されているボランティア団体の主な活動先は、町内の福祉施設や諸団体の行事、社会福祉協議会の福祉事業など、多数活動されています。

個人ボランティアも、４８名の方が登録しています。今年度もよろしくお願いします！

団　体　名	主な活動内容
おくたま傾聴ボランティアふくろう	町内福祉施設での傾聴
奥多摩指圧奉仕会	指圧研修、指圧奉仕活動など
手話サークルもみじ	手話の学習、ろう者との交流など
民生委員・児童委員協議会	地域福祉に関する調査など
コールやまぶき	コーラスの練習・発表、町内福祉施設慰問など
食事サービスかたくりの会	配食サービス（配達、容器回収、容器洗い）など
凸凹たんぽぽの会ボランティアグループ	福祉バザーボランティアなど
点字サークルてん点	点字・点訳の学習、点訳本の作成など
栃久保ママさんクラブ	地域清掃、子どもの会・自治会への協力など
奥多摩ねこねっと	野良猫を減らす活動など
かもんみ～るボランティアグループ	地域清掃、福祉バザーボランティアなど

ボランティア養成講座受講生募集

「ボランティア・センターおくたま」では、ボランティア養成事業の一環として、下記の講座を開催します。ご興味のある方は、年齢、性別、経験は問いませんので、お気軽に申し込みください。

≪指圧講習会≫
【期　日】令和７年５月１２日～７月までの毎週月曜日
【時　間】午前10時15分～11時45分（全１０回）
【会　場】福祉会館　２階　和室
【受講料】無料　※但し、初回のみテキスト代として
3,000円をご負担いただきます。
【申込受付】４月３０日(水)まで
【対象者】町内在住・在勤の方

▲指圧講習の様子

≪手話講習会≫
【期　日】令和７年７月３日～１１月までの毎月第１・３木曜日
【時　間】午後７時～８時３０分（全１０回）
【会　場】福祉会館　１階　ボランティア室
【受講料】無料　※但し、初回のみテキスト代(すぐに使えるパーフェクト辞典)として2,420円をご負担いただきます。
【申込受付】６月３０日(月)まで
【対象者】町内在住・在勤の方

≪今年度のボランティア養成講座実施予定≫
令和７年度に実施予定である傾聴ボランティア養成講座については、７月２５日に発行する広報誌にて、受講生募集の詳しい内容を掲載します。

まごころ助成事業公募

町内で福祉に関すること、または青少年育成もしくは住民の健康づくりを目的に活動している団体を対象として、公募により助成を希望する団体を募り、団体活動の発展に寄与する「まごころ助成事業」の募集を行っています。

【対象事業】助成の対象となる事業は、単年度で完了する事業とし、団体の経常的な運営費は対象外となります。
①福祉向上または青少年育成もしくは住民の健康づくりを目的とした事業であること
②明確な企画（目的・内容・資金使途）であること
③先駆的・開拓的、緊急性の高いものおよび効果・影響などが期待できるもの

【助成金額】１団体への助成金額は、概ね５万円以内
提出していただいた資料をもとに、審査委員会で助成金額を決定します。申請件数が多い場合は、助成金額が申請どおりに通らない場合もありますので、ご理解をお願いします。

【申込方法】奥多摩町社会福祉協議会へ備え付けの申込書類を取りに来ていただくか、ホームページからダウンロードし、必要書類をそろえて奥多摩町社会福祉協議会へ申し込みください。

【募集期限】５月９日（金）

【助成金の決定】審査委員会において助成団体および助成金額を決定し、令和７年６月上旬に決定通知をお送りいたします。助成金の交付は、６月下旬を予定しています。

※申し込み・問い合わせは、社会福祉協議会　電話８３－３８５５